

レジリエントな社会への変革をリードする産官学連携ヨコハマ

国際教育プログラム（YOKOHAMA-SXIP）

2022年度 インド アンナ大学派遣募集要項 再募集

●概要及び目的

横浜国立大学は、今年度、文部科学省「大学の世界展開力強化事業」に採択され、インド・オーストラリアとの交流を促進する「レジリエントな社会への変革をリードする産官学連携ヨコハマ国際教育プログラム（YOKOHAMA-SXIP）」を実施することになりました。

本プログラムでは、大学が渡航費を支援し、学生の海外体験や国際交流の後押しをします。プログラムの目的は、グローバル社会のサステナビリティ課題から事業を構想し、ステークホルダーと共同して新しい仕組みや新技術を社会実装する起業家などレジリエントな社会への変革をリードし、持続可能な未来社会を創造するSX（サステナビリティ・トランスフォーメーション）人材を育成することです。2023年春に実施する約8日間の海外研修の派遣先は、インドのアンナ大学です。この研修では、英語による情報発信力を高めるべく英語力の強化を図り、加えて現地コミュニティでの様々な学習活動等を通してインドの社会・生活・文化の理解を深め、語学能力取得とともにSX人材の育成を目指します。横浜国立大学は国際的かつ持続可能な未来社会を創造する視野を持った次世代の人材として成長するための実りある経験に積極的に取り組む参加者を募集します。

●派遣期間

2023年2月26日（日）～2023年3月12日（日）のうち、現地滞在8日間以上（予定）

●派遣場所

インド アンナ大学（Anna University）

●募集人数

若干名 ＊申請書類や面接等により選考を行います

：渡航費用及び滞在先宿泊費用等を大学が負担するとともに、JASSO 奨学金（支給要件の対象者のみ）が支給されます。

●自己負担額（目安）

約5万円（受入大学が手配する宿泊施設等に滞在し、食事は各自負担となります。目安は、ビザ費用、危機管理サービス OSSMA 料、海外旅行傷害保険料、羽田または成田空港までの往復交通費、滞在中の食事代の概算額です。）

1 大学からの支援経費に含まれるもの

- ・ 航空券 羽田または成田～チェンナイ(予定)往復国際航空賃・空港関連諸税
- ・ 現地宿泊費用(受入大学が手配する宿泊施設) ＊その他の場合(ホテル経費)は受入大学と要調整
- ・ 現地到着日及び出発日の現地空港～大学の移動費用(往復) ＊受入大学と要調整

2 以下の経費は含まれません（自己負担要）

- ・ ビザ（Electronic Travel Authority (ETA/ETAS)）取得に係る費用
- ・ 危機管理サービス OSSMA 料
- ・ 海外旅行傷害保険料
- ・ 予防接種料
- ・ 自宅から羽田または成田空港までの往復交通費
- ・ 渡航手続きにかかる一切の費用（パスポート取得に係る経費等）
- ・ 超過荷物輸送料
- ・ 現地授業で使用するテキスト代（クラスによっては現地でテキスト調達が必要になる場合がある）
- ・ 滞在中の食事代
- ・ 現地交通費(上記 1 の移動費用以外)、その他個人的費用（小遣い・電話代・お土産代等）
- ・ 任意参加の有料週末旅行等の費用
- ・ 研修プログラム以外に伴う経費
- ・ 参加費等を振り込む際の銀行振込手数料等

●応募条件

- ・ 本学の正規の学生であること（留学生は除く）。
- ・ 理工学部、理工学府または環境情報学府の所属であること。
- ・ 期間中のプログラムに積極的に参加する能力、与えられた課題に対して、締め切りまでに責任を持って遂行する能力、同行の参加者と協調する能力を求めます。
- ・ 特別な配慮が必要な場合は応募までに本プログラム担当教員又はグローバル推進課国際企画係に相談してください。
- ・ 応募の時点で 2023 年 9 月末（6 か月先）まで有効のパスポートを有していること（あるいは 2022 年 12 月 15 日までに確実に取得しパスポートのコピーの提出が可能なこと）。
- ・ 学部生は秋学期開講予定科目「SXIP 国際協働演習」（不定期）を履修し、アンナ大学の学生と事前演習・コースワーク、インターンシップ、シンポジウムでの成果発表等に取り組むこと。
- ・ 12 月に来日するアンナ大学の学生と、以下の交流が可能であること。
 - 1 12 月 15 日（木）または 16 日（金）に、学内で交流の機会を持つこと。
 - 2 12 月 17 日（土）または 18 日（日）に、エクスカージョンを企画し、アンナ大学学生を案内すること。
 - 3 12 月 21 日（水）、22 日（木）の国際シンポジウムに参加すること。
- ・ 「海外安全講習」（E-learning）を履修すること。
- ・ 研修後は研修報告書等を横浜国立大学グローバル推進課へ提出すること。
- ・ 研修後に最新の語学スコアを提出すること。

●その他

- ・ 研究室に所属する学生は指導教員と予め相談すること。
- ・ 本学の教職員の引率がない場合があります。
- ・ MAB/SDGS 副専攻プログラム（卒業に必要な単位に算入されるかは各学部によって取扱いが異なります）。における海外研修に相当する科目として申請可能です。
- ・ 所定の成績要件及び家計基準を満たす参加学生は奨学金として 1 人当たり 6 万円を受給できる可能性があります。

●応募方法

- 提出書類： ① 申請書・・・データ、紙媒体両方提出（＊最新の語学力を記載）
② 誓約書・・・紙媒体を提出
③ 成績証明書・・・紙媒体を提出(直近)
④ 学生証のコピー（A4 サイズ）・・・紙媒体を提出
⑤ パスポート写し（カラー、A4 サイズ、「パスポート番号や顔写真のあるページ」のみ）・・・紙媒体を提出
- 提出先： データ（提出書類①）：yokohama-sxip@ynu.ac.jp（件名は「YNU アンナ大研修_学籍番号_氏名」）
紙媒体（提出書類①～⑤）：学務・国際戦略部グローバル推進課国際企画係（SXIP 担当）窓口（学生センター2階）
- 申請締切： 12月5日（月）午後2時

●選考方法

書類及び面接審査（面接日:12月6～7日。面接日時は12月5日午後6時までにメールにて通知予定）

●参加者決定

12月7日（火）17時までに応募者全員に参加の可否をお知らせします。

●問合せ先：学務・国際戦略部グローバル推進課国際企画係（学生センター2階）

T E L : 045-339-3949/3109

e-mail : yokohama-sxip@ynu.ac.jp